

自分のキャリアへの投資を考えてみよう —自己の在り方生き方をコストの側面からみる—

(総授業時数：10時間)

実施学年、教科等

第1学年～第3学年 総合的な学習の時間

単元の目標

- (1) 自分の進路とそれを支える経済的手段や基盤についての関心を高め、自己が果たすべき社会的・経済的役割と物質や金銭とのかかわりの中で在り方生き方について考えようとする態度を養うことができるようにする。
- (2) 自分の進路について、社会・経済状況に留意しながら多面的・多角的に考察させ、公正に判断する能力を養うことができるようにする。
- (3) 自分の進路選択について、物質や金銭とのかかわりを基に、説得力ある自己表現の仕方を身に付けることができるようにする。
- (4) 上級学校で学ぶ学問や職業と金銭のかかわりについて、自己を取り巻く社会・経済的状況を踏まえながら理解し、その知識を身に付けることができるようにする。

学習の評価

- (1) 自己の在り方生き方や職業について、経済的な状況や金銭的な条件とかかわらせながら考えようとしている。
(ワークシート・レポート・グループ発表)
- (2) 職業と人生をめぐる話し合いや考察の中で、経済的な状況や金銭的な側面を踏まえ、人間の在り方生き方や職業について公正に判断している。
(レポート・グループ発表)
- (3) 調査結果をまとめ、職業と人生をめぐる考察の中で話し合いに積極的に参加し、適切な発言や発表を行っている。
(レポート・グループ発表)
- (4) 上級学校で学ぶ学問や将来の職業とその費用など、自己のキャリア形成と自己投資についての知識を理解し、身に付けている。
(ワークシート・レポート・グループ発表)

展開の特色

- (1) 高校生の時期に進路を現実的なものとして考えさせるため、総合的な学習の時間における在り方生き方学習と家庭科・公民科におけるライフプランの作成や課題追究学習と金融学習の総合を図る。
- (2) 上級学校調べや学問調べについて、授業料や奨学金、資格取得にかかる資金など、キャリア形成を自己投資と関連付けて考察させる。
- (3) 進路決定をパーソナルファイナンスの観点からとらえ、自分の人生にかかるお金という意識をもたせることを重視する。

その他

- (1) 学校周辺で奉仕体験やボランティアが可能な職場の確保
- (2) 大学・短大・専門学校について調べるための書籍資料や検索エンジンの準備
- (3) 学校や職場見学の成果を記入するワークシートの形式の工夫

「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

*記号については、P.32～45を参照。

Aーア、Dーア・ウ

学習内容のキーワード

フリーター、ニート、生涯賃金、職業、興味・関心、適性、職場見学、就業体験・ボランティア、レポート、仕事インタビュー

●指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他 (教科等との関連)
1 2	働かざる者食うべからず? ・フリーターやニート増加の経済的背景や影響について理解させる。 ・就職の意味や意義を考えさせる。	●非正規就業者や若年失業者の増加する状況について調べ、就職について話し合う。 ・フリーターやニートがどのような状況を指しているのか、いつ頃から使われ始めたのか、その背景や影響について調べる。 ・人は何のために職業に就くのか、一人ずつ意見をまとめ、任意のグループで話し合う。 ・各グループで話し合ったことを発表し、生きがいをもって働くためのキーマターを検討する。	◆フリーターやニートが生まれてきた社会的・経済的背景に気付かせるようにする。 ◆就業の時期や職業、雇用形態によって、生涯賃金や貯蓄・消費がどのように変わってくるのかを、厚生労働省の試算などを基に考察させる。	★フリーターにはいくつかのタイプがあり若年失業者層をニートとすることについては社会学者を中心に様々な議論があることに気付かせる。 ★非正規雇用の増加がGNPや景気に与える経済的影響や、社会保障制度の運用に支障が出てくることなどにも留意させる。	・「家庭総合」家庭生活と労働、生活設計 ・「現代社会」雇用と今日の労働問題
3 4 5	お金が稼げりゃ仕事は何でもいいの? ・現代社会にどれほど多くの職業が存在しているか気付かせる。 ・自分の職業への興味・関心や適性について考えさせる。	●多種多様な職業を知り、自己の興味・関心や適性を調べる。 ・提示された120の職業を、興味・関心のあるもの、全くないもの、仕事の内容が分からないものに三分類し、さらに興味・関心のあるものを例えば「今最も興味をもっている職業」「気になる職業」「夢の職業」「収入が多いなら就いてもいいと思う職業」というようにグルーピングする。 ・興味・関心があるものをグルーピングしたものの中からそれぞれ一つピックアップして、職種、仕事内容などを調べる。 ・職業適性検査を実施し、自己の興味・関心と適性の関係について考察する。	◆「なるにはチャート(必要な学業・資格など進路可能性と費用)」等の項目を調査し、就業までにかかる年限・費用と、就業してからの収入の関係、その両者への自己の興味・関心のかかわりについて考察する。	★興味・関心のある職業は、少しでもそうであればなるべく多く選択させる。その上でのグルーピングにウエイトを置く。 ★グループ内分業でなるべく多くの職業を調べることができるようにする。また就業形態と収入の関係も調べるよう留意する。 ★適性と興味・関心のギャップがなぜ生まれたか、生まれないかの考察を職業調査と関連付けて考えさせるようにする。	・「家庭総合」人の一生と発達、家庭生活と労働、生活設計 ・「現代社会」私たちの生きがい、雇用と今日の労働問題
6 7 8	実際の仕事はどんなもの? ・体験学習の意義を理解させる。 ・体験学習を通じて職業観を深めさせる。	●実際の職場をボランティアやインターンシップを通じて体験する。 ・体験学習の目標やねらいの設定方法、事前の情報収集と活用する方法、成果のまとめ方について説明を受け、学習計画を立てる。 ・職場見学や就業体験・ボランティアを実施する。職業を体験すると同時に、職場を支えている人の苦労や喜び・生きがい、企業全体の生産額や職種ごとの収入など、職業をめぐる様々なことからの聞き取り調査も行う。 ・見学や体験の結果をレポートにまとめ、グループごとに発表を行い、体験や聞き取りによる職業観の深まりについて相互評価を行う。	◆見学や体験に行った職場の労働者から、その職業・職種を選んだ動機やきっかけ、収入に満足しているか、生きがいや働きがいと趣味や家族を支える意識との関係など、プライバシーに配慮しながら、お金とキャリアの関係について聞き取る。	★興味・関心のある職業について知るための学習計画が適切に立てられているかを吟味し、助言を行う。 ★学習の動機や興味・関心が職業人としての自立と社会参加を推進するという目的に適ったものになるよう、個別に丁寧に助言する。	
9 10	キャリアにはどれだけお金がかかるの? ・自己の進路が実現可能なものかどうかを考察させる。 ・高校卒業後の具体的な進路を費用との関係で決定させる。	●進学・就職にかかる費用と志望実現のための手段について調べる。 ・保護者への仕事インタビューを行い、保護者の仕事や就職の経緯と現在の収入、自分のために使っている教育費用などについて聞き取り、自己の就業までの個人的希望と家計的に可能な先行投資の調整を行うことが可能かどうかを調べる。 ・進学する場合は学校、系統、学部、学科、専攻等について具体的に調べ、オープンキャンパスや体験入学等を通じて学費、奨学金、特待制度とその条件を聞き取る。就職・公務員の場合は、職に就いてからの昇進や技術向上のための研修の有無や学校以外で勉強するための参考書・予備校などの費用について調べる。	◆将来の就業のために自己に必要なことを、3学年次の選択科目や進学、就職の選択など様々な側面から考察させるだけでなく、就業までに必要な資金やその調達方法など、自己投資の時期に必要な手だてを構想させる。	★保護者の給与明細や家計簿を閲覧するなど、プライバシーに配慮しながら具体的な資料に基づくインタビューになるよう助言する。 ★独立行政法人や自治体、金融機関などの奨学金や教育ローンについても調べるよう助言する。	



1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

●教材・資料等 (授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

気になる職業

1学期の取り組みと夏休み課題を通して、自分の将来像を明確に描くことができたでしょうか。将来どのような職業に就いているのか、これからどのような学校に進学するのか、といったことは人生をデザインする上では重要な選択となります。

皆さんは、どんな職業が好きですか。どんな職業をやりたいですか。今学期は同じような進路希望の人たちが集まって活動することになります。自分の属するグループを決める前に、今回ここで様々な職業について考えることにより、現在の進路希望について明確に認識するとともに、他の職業についての認識をもち、視野の広い進路探索をできるようにしましょう。

STEP 1 120の職業興味

別紙『120の職業』に載っている職業について、

自分が興味・関心のある職業には Y
 自分が興味・関心のない職業には N
 仕事の内容が分からない場合には 番号 に○をつけてください。

20個以上は
 Yに○を付けてください。

あくまで、「興味・関心」であって、「なれる・なれない」ではありません。

STEP 2 カードを分類

- ①別紙『120の職業』を職業ごとに切り取り、120のカードにする。
- ②番号に○がついているカードを、下の『職業調べ』欄に貼り付ける。

職業調べ (番号に○)

『職業調べ』欄に貼られた職業のいくつかは、次回以降にその仕事内容について調べてください。

- ③Nに○がついているカードを、下の『全く興味・関心のない職業』欄に貼り付ける。

全く興味・関心のない職業 (Nに○)

- ④Yに○がついているカードを、机の上に並べてください。

STEP 3 興味・関心度でグルーピング

- ①Yに○が付いているカードを、まず机の上でグループ分けをしてください。グループ分けの基準は、自分の興味・関心度です。
- ②グループ分けをしたら、そのグループにキャッチフレーズを付けてください。例えば、「今の私が最も興味をもっている職業たち」「気になる職業たち」「夢の職業たち」「別にやってもいいと思う職業」「少し気になる職業」などなど。
- ③グループ分け・キャッチフレーズができたら、下の『興味・関心のある職業』欄に貼り付ける。グループ分け・キャッチフレーズが分かるように、線や色を使ってきれいに仕上げてください。

興味・関心のある職業 (Yに○)

STEP 4 気付いたこと・意外に思ったこと

- ①今回の作業をして、気付いたこと・意外に思ったことを、4つ記入する。

☆
 ☆
 ☆
 ☆

組 番 氏名

担当者

印

1 自動車組立工	Y・N	2 プログラマー	Y・N	3 測量士	Y・N
4 商品開発部員	Y・N	5 航空機組立工	Y・N	6 銀行員	Y・N
7 カメラ組立工	Y・N	8 建築大工	Y・N	9 鉄筋工	Y・N
10 電算オペレーター	Y・N	11 外商部員	Y・N	12 商品管理係	Y・N
13 縫製工	Y・N	14 経理事務員	Y・N	15 電気技師	Y・N
16 スーパー店長	Y・N	17 家具工	Y・N	18 医療事務員	Y・N
19 建築ブロック工	Y・N	20 住宅不動産	Y・N	21 製本作業員	Y・N
22 秘書	Y・N	23 屋根葺き工	Y・N	24 自動車セールス	Y・N
25 陶磁器成型工	Y・N	26 国連職員	Y・N	27 インテリア職人	Y・N
28 OA機器セールス	Y・N	29 製パン工	Y・N	30 トレーサー	Y・N
31 建築塗装工	Y・N	32 生命保険外交員	Y・N	33 化粧品製造	Y・N
34 市場調査員	Y・N	35 配管工	Y・N	36 列車内販売	Y・N
37 ピアノ組立工	Y・N	38 通訳	Y・N	39 タイル・レンガ工	Y・N
40 百貨店販売員	Y・N	41 弁護士	Y・N	42 ホテルフロント係	Y・N
43 幼稚園教員	Y・N	44 新聞記者	Y・N	45 ホテル客室係	Y・N
46 公認会計士	Y・N	47 小学校教員	Y・N	48 シナリオライター	Y・N
49 税理士	Y・N	50 書道教室教師	Y・N	51 中学校教員	Y・N
52 アナウンサー	Y・N	53 司法書士	Y・N	54 日本料理人	Y・N
55 高校教員	Y・N	56 放送ディレクター	Y・N	57 外交官	Y・N
58 中国料理人	Y・N	59 大学教員	Y・N	60 ラジオ・テレビ業	Y・N
61 社会保険労務士	Y・N	62 メイクアップアーティスト	Y・N	63 養護学校教員	Y・N
64 評論家	Y・N	65 中小企業診断士	Y・N	66 美容師	Y・N
67 図書館司書	Y・N	68 服飾デザイナー	Y・N	69 不動産鑑定士	Y・N
70 アクセサリーデザイン	Y・N	71 学芸員	Y・N	72 コピーライター	Y・N
73 裁判官	Y・N	74 スポーツ指導員	Y・N	75 職業訓練指導員	Y・N
76 カメラマン	Y・N	77 ビル施設管理技術者	Y・N	78 音楽教室講師	Y・N
79 カウンセラー	Y・N	80 漫画家	Y・N	81 保育士	Y・N
82 医師	Y・N	83 パイロット	Y・N	84 獣医師	Y・N
85 社会福祉士	Y・N	86 歯科医師	Y・N	87 航海士	Y・N
88 畜産技術者	Y・N	89 児童相談員	Y・N	90 看護師	Y・N
91 船舶機関士	Y・N	92 動物園飼育係	Y・N	93 ケースワーカー	Y・N
94 薬剤師	Y・N	95 運転士	Y・N	96 調教師	Y・N
97 警察官	Y・N	98 臨床検査技師	Y・N	99 ツアーコンダクター	Y・N
100 トリマー	Y・N	101 消防士	Y・N	102 X線技師	Y・N
103 航空整備士	Y・N	104 造園師	Y・N	105 麻薬取締官	Y・N
106 歯科技工士	Y・N	107 キャビンアテンダント	Y・N	108 林業技術者	Y・N
109 補導員	Y・N	110 歯科衛生士	Y・N	111 自動車整備士	Y・N
112 理学療法士	Y・N	113 言語治療士	Y・N	114 港湾荷役係	Y・N
115 栄養士	Y・N	116 無線通信士	Y・N	117 柔道整復師	Y・N
118 船舶通信士	Y・N	119 航空管制官	Y・N	120 運転手	Y・N

(出典) NHK 教育テレビ「あしたをつかめ 平成若者仕事図鑑」を参考に作成。